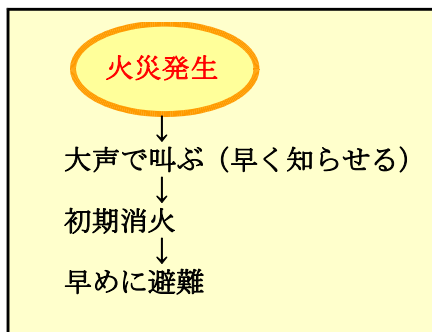


災害時心得

◎火災発生時



- ・小さな火でもできるだけ複数で対応する
- ・応援を求める
- ・消火はできるだけ早く、落ち着いて初期消火を行う
- ・消火は消火器や水だけでなく、手近なものなら何でも活用する
- ・天井に火が届いたら火を消すことは無理なので早めに避難する
- ・消火器の設置場所や使い方は日ごろから確認しておく

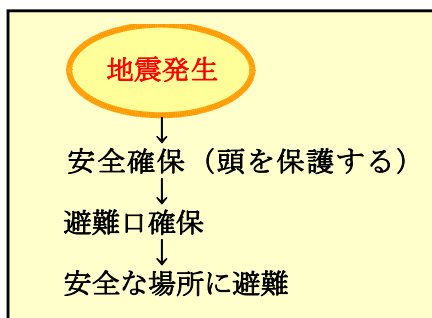
消火器はどこ？

消防法施行規則では、「歩行距離 20 m以内」に設置することになっています。

※歩行距離とは実際に歩行する経路の長さで測定するものであり、図面上の直線距離ではありません。

校内の消火器設置場所を確認しておきましょう！！

◎地震発生時



- ・激しい揺れは1分程度、揺れがおさまったら落ち着いて行動する
- ・あわてて外に飛び出さない
- ・被害状況を把握する
- ・協力しながら避難経路の安全確認や危険物の除去を行う
- ・液状化や津波など地域の状況を把握する
- ・津波警報が出たら3階以上に避難する

千葉西高校（美浜区磯辺3丁目）は、40年前に東京湾を埋め立て造成された地域にあります。

1987年の千葉県東方沖地震では、本校周辺でも液状化現象が見られました。



液状化－流動化被害：重いもの沈む
軽いもの浮く



下水道掘り返し部分の液状化沈下
（写真提供：千葉県環境研究センター）

＜液状化＞

埋立地、海岸や川のそばの比較的ゆるい砂地盤のところでおきやすく、地盤が泥水のようにゆるむことがある。

災害をなくすことはできませんが、一人一人が防災のことを意識し、準備することで、災害があっても被害を少なくすることができます。
(減災)

災害が起きたとき、まずは、
「自分の命は自分で守る（自助）」
そして、自分の命を守ることができたら
「今、自分に何ができるか」を考える
「自分たちのまちは自分たちで守る（共助）」

とにかく **「命を守ろう」**



防災教育チャレンジプラン